

日本開閉器工業

「訥言敏行」で世界一を志向

スイッチの第一人者

(論語)に「君子は言に訥にして行い敏ならんことを欲す」とある。つまり君子は弁舌がさわやかであるよりも、実践において機敏でありたい…という意味だ。この言葉から、「訥言敏行」の四字句が生まれた。むろん訥弁がいいといっても、

立は昭和28年)以来、半世紀余の歴史と信用を刻み、産業用スイッチの専門メーカーとして盤石の地歩を培う業界第一人者。「スイッチの日開」の名は国内はもとより、アジア、欧米まで世界各国に知られる存在となっている。今や宇宙衛星機器からコンピュータ、FA自動化機器、航空、鉄道、船舶、医療、防災、制御機器、建設、移動体通信等々まで、その卓越の技術と高い品質が生かされる産業分野は幅広い。既に業界日本一は名実とも

無口や沈黙が無条件にいい訳がない。主張すべきはきちんと伝え、相手の懐に入って求められることに機敏に心える。それは成長する企業の基軸とも言えよう。日本開閉器工業(株)代表取締役社長・大橋 智成氏)は、昭和26年の創業(会社設

に成就した。次なる目標はむろん世界一に向いている。「スイッチング」を言葉の壁を越えた普遍的なコミュニケーションの手段として志向。マシンの持つ高機能と人の感性とをインターフェースする時代の先駆けであり、まさに「訥にして行い敏ならん」が如く地味だが着実に成長し続けてきた正統派企業だ。今後事も業拡大より専門分野に特化した「グレート・スマール・カンパニー」を目指すという。

川崎市高津区宇奈根715・1